



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA  
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S

# The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998

- 国際会長主題 「全ての世界に出て行こう」 “Go Ye into All The World”  
 アジア地域会長主題 「未来を始めよう、今すぐに」 “Start Future Now”  
 西日本区理事主題 「志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう。」  
 “Attend club meetings with a clear motive to make the most of them.”  
 中部部長主題 「長所を活かして生き生きと」  
 金沢クラブ会長主題 「多くのワイズと出会い、多くのワイズと握手を交わそう」

## 2013 10 月間強調 B F

<p style="text-align: center;"><b>今日の聖句</b></p> <p>朝、種を蒔け、夜にも手を休めるな。実をむすぶのはあれかこれか、それとも両方なのか、分からないのだから。</p> <p style="text-align: right;">コヘレトの言葉 11章6節</p>	<p style="text-align: center;"><b>10月強調月間</b></p> <p>B Fは、全ワイズメンバーの参加によって集められる資金です。使用済み切手を収集することで世界のワイズを感じましょう。</p> <p style="text-align: right;">長壽和子ファンド事業主任 (岡山クラブ)</p>
<p style="text-align: center;"><b>10月例会 プログラム</b></p> <p>とき 2013年10月17日 (Thu.) 18:30~20:30            ところ 金沢ニューグランドホテル            会費 ¥3,000 (会員不要) ¥2,000 (メット)            司会 澁谷洋太郎君            開会・点鐘 幸正一誠会長            主 題 司 会 者            ワイズ・ソング 一 同            今月の聖句 司 会 者            ハッピー・ハーベストイブ 幸正一誠会長            ゲスト紹介 西 信之君            食前の感謝 西 信之君</p> <p style="text-align: center;">~~~~~会 食~~~~~</p> <p>スピーチ “YMCA との出会い            ~主のよき力に導かれて~”            藤井辰男氏            委員会報告 各 委 員            ニコニコタイム 伊藤仁信君            YMCA の歌 一 同            閉会・点鐘 幸正一誠会長</p>	<p style="text-align: center;"><b>9月 クラブ活動状況</b></p> <p><b>第1例会</b> (9月19日 Thu.)            メ ン : 伊藤、数澤、幸正、澁谷、清水、西、            山内、山本 (8名)            出席率 : 100 %            メネット : 伊藤、数澤、澁谷、山本 (4名)            ゲスト : 松田氏 (1名)</p> <p><b>第2例会</b> (9月1日 Sun.)            メ ン : 伊藤、数澤、幸正、山内 (4名)            メネット : 数澤 (1名)</p> <p><b>ニコニコタイム</b> 11,000円            クラブファンド 累計 48,000円</p> <p><b>B Fポイント</b>            切手 0 kg 累計 0 kg            現金 0円 累計 0円</p>
<p>会 長 幸正一誠 書 記 山内ミハル            副会長 澁谷洋太郎 会 計 伊藤仁信            前会長 数澤輝夫 ネット会長 数澤淑子</p>	<p>第一例会 : 毎月第三木曜日 18:30~20:30            金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311            第二例会 : 毎月1日 18:30~20:00            金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)</p>

## 「年寄りの冷や水」

数澤 輝夫

湯湧温泉玉泉湖の氷室小屋では毎年7月1日を「氷室のついたち」と呼び、氷を取り出すのが恒例行事となっているが、氷室小屋から運び出された雪氷が近江町市場で観光客や買い物客らの人気を集めていた。雪氷は6月30日の「氷室開き」で取り出された長方体(縦30cm、横40cm、高さ25cm)で表面はつるつる。こもの上で輝く真っ白な雪氷の塊に大人も子どももひと時の涼を楽しんでいたようである。

氷室の歴史は江戸時代に遡り、加賀藩主前田利常により始められた将軍への献上氷が、幕末の第14代将軍家茂の時代まで続けられていた。前田家は犀川上流および城内に氷室をもっていた。製氷する技術が無かった時代、冬場にできた天然の氷を溶けないように洞窟や地面に掘った穴に茅草などの小屋を建てて覆い保冷していたようだ。この天然氷を箆と笹の葉に幾重にも包んで、二重の桐の長持ちに納め、八人の力自慢の脚夫によって昼夜兼行で江戸藩邸まで届けていたということである。このように天然のものを保管するしかない時代、夏場の氷は貴重品であり、長らく朝廷や将軍家など一部の権力者のものだった。その後、土蔵造りの氷室が江戸市中にも作られるようになり、庶民に夏場の氷が供給されるようになった。江戸は玉川上水より水道水が飲み水として供給されていたが、夏場にはぬるくなってしまう。そのため氷で冷やした水売る「水屋」(水売り)という商売が誕生した。しかし川から汲んだ水に氷を入れたものであったため不衛生で、これを飲んだ高齢者が腹をこわすことがよくあったらしい、「年寄りの冷や水」という慣用語はここから生まれたといわれる。

私の小学生の頃に住んでいた笹下町に氷室の小屋がまだ存在していた。夏になると近所の友達とその中で昼寝をして暑さを凌いだことや、かくれんぼをしたことなどが楽しい思い出となっている。

先日、運転免許証の更新を行った。高齢者の更新はなかなか大変なのである。朝8時に自宅を出発して石川県運転免許センターに向かった。まず高齢者講習前の「講習予備検査」(認知機能検査)に臨んだ。試験となると胸がドキドキ・・・、ペーパーテストでは、①今日は年、月、日、曜日、時刻を記入して下さい。②絵を見た後、どんな絵があったかを記入して下さい。など多岐に亘る記憶力・判断力等の検査と実車指導が行われた。ようやく新しい免許証を貰って帰宅したのは午後1時半を回っていた。これ位のことで音を上げ

ていたのでは運転する資格はないのかも知れないが…。年々衰え行く運動能力、注意力、「そろそろ免許証の返納をしたら？」の妻の言葉は聞こえない(振り)、まだまだやりたいことがある、足をもぎ取られては動きが取れない、「年寄りの冷や水」が重くのしかかるが、これからの3年間、ハンドルを握る時はさらなる慎重さを心がけ、また愛車を駆使してさまざまな活動を続けたいものと思っている。

## 【9月例会報告】

9月はメネットナイトとして、企画、運営すべてメネット会が担当しました。スピーカーは6月からお願いしてありましたので、7月メネット会総会(於 レストラン ゲデレー)で、それぞれ担当を決め、余裕でメネットナイトを楽しむことができました。

スピーカーは臨床心理士で、金沢こころの電話相談役でいらっしゃる松田昭臣氏。「花はなんの花？」と題してお話していただきました。

### 《スピーチの概要》

幼稚園を訪ねたとき、「誰のおじいちゃん？」と聞かれたので、「美穂ちゃんのおじいちゃんや」というと「うそつき！」と言われてしまいました。それで「自分のおじいちゃんは、おじいちゃんと言ってもいいけど、よその人はおじいちゃんと言いなさい」と言ったら、保育士に「困ります。子どもたちが正しい」と叱られてしまいました。



私は自分が花だったら、朝顔かなあと思う。朝顔はつるを這わすつかい棒が必要で、他に依存しなければ生きていけない。でも朝弱いしなあ。ひまわりのように肩ひじ張っていきいなくてもいいから、朝顔だと受け入れたら、気が楽になった。今にかぼちゃになるかもしれない。地面を這いずり回って上に上ることもできない。

クリスマス会でキリスト教関係の児童養護施設に招

かれたとき、園長先生が子どもたちに「クリスマスツリーは何の木？」と尋ねると、子どもたちは「モミの木」と即座に答えた。「どうしてモミの木なの？」と尋ねると誰も答えられない。そこで園長は「じゃあ教えてあげよう。モミの木はネ、とても寂しい木なんだよ。フマキラーのようなものを出して、虫も寄ってこない。虫が来ないから鳥も来ない。だから神様が年に1回、きれいに飾って、仲間にいれてあげるんだ。」

植物の生き方を面白いと思った。

タンポポは花が咲くと茎が長く伸びる。綿毛を遠くまで飛ばすことができるように。外来種のセイタカアワダチソウは根っこから他の植物を枯らすものを出すので、周りの草はどんどん枯れていった。ところが、最近ススキが盛り返してきている。ススキが除草剤を中から中和するものを出し始めたという。

皆さんは自分を花にたとえると何の花だと思いますか？との質問に、メンバー一人ひとりはこちらかと言えたい花の名をあげました。理由は省略します。

数澤ノ(黒百合)、清水ノ(ひまわり)、幸正ノ(ドクダミ)、伊藤ノ(ヨモギ)、伊藤メ(コスモス)、澁谷ノ(桜)、澁谷メ(スイトピー)、西ノ(白百合)、山本ノ(ガーベラ)、山本メ(緑の濃い観葉植物)、数澤メ(すもも)、山内ノ(すみれ)

椿は不吉な花として嫌われている。花を足元へぼんと落として、それが腐って自分の栄養になる。自給自足しており立派だと思う。

桜は花びらを飛びちらし、多くの木の栄養になっている。多くの鳥や虫を養っている。昔から日本人の心の支えになっている。外国人から見ると、桜の木の下で宴会をして楽しんでいるのを見て、花を大切にしていると感じているようだ。雪つりにしても、木を大切にしていると思っている。

話かわって、オシドリについて、おしどり夫婦という言葉があります。猟師は撃つとき、雌の方から先に撃つそうです。雌を撃つと、雄は雌を助けようとして



オシドリの話全員大笑い

逃げないから両方仕留めることができる。うっかり雄を先に撃つと、雌はさっさと逃げてしまうので撃てない。猛禽類に襲われても、雄が死んだふりをして雌を逃がすという。

また、ホトトギスは托卵性で、鶯やヨシキリの巣に卵を産んで育ててもらおう。鶯は2個卵を産むが、ホトトギスはその1個を背中に乗せて外に出してしまい、自分の卵を入れておく。鶯は自分の子どもでないことは分かるが、口を開かれると餌を与えてしまう。鶯の卵はもともと白い卵であったが、ホトトギスのと区別するため、まだらな卵を産むようになったところ、ホトトギスもまだらになった。そこで鶯は卵の色を茶色にしたところホトトギスの卵も茶色になった。児童相談所にいたころ、子どもを預けっぱなしの親への啓蒙の為、キャンペーンのポスターに「ホトトギス症候群にならないように」とか「他力本願」とか書いたら、関係者からクレームがきた。ホトトギスの托卵性については、体温が一定でないため、温めているうちに卵が腐ってしまうということがあるのだそうです。生き方について、人間は複雑ですが、子どもたちのために住みやすい社会を作ってください。

(文責 山内 ミハル)

### 藤井辰男氏 プロフィール

- 1952年 奈良市生まれ。
- 1972年 奈良YMCA ボランティアリーダーとして活動する。
- 1975年 奈良YMCAに奉職。青少年活動、野外教育、国際・地域奉仕活動等を担当。
- 2007年 奈良YMCA 総主事に就任。
- 2012年 奈良YMCA を退職。
- 2013年4月 北陸学院中学・高等学校校長に就任。

### ~~~~~ お知らせ ~~~~~

#### ☆ジャガイモ到着について

金沢着：2013年10月14日(月・祝) 10:00  
集 合：山内宅

#### ☆第18回びわこ部部会

10月5日びわこ部部会が開かれ、幸正、伊藤ノ・メ、数澤ノ・メ、澁谷ノが出席されました。

#### ☆中部部会反省会について

金沢犀川クラブから連絡があり、10月14日(月・祝) 18:30~中部部会の反省会を行います。場所、会費は未定です。ご参加ください。

## ☆大阪クラブ創立 85 周年記念例会

日 時：2013 年 11 月 2 日(土) 14:00~17:00

場 所：大阪YMCA土佐堀会館 903 号室

登録費：無料

Happy Birthday

山本典子メネット 10月27日

## ~~~~~ YMCA のお知らせ ~~~~~

### ☆早天祈祷会

日 時：2013 年 11 月 1 日(金) 6:00~

場 所：金沢YMCA集会室

### 11月の担当

ブリテン執筆： 山本 達也君  
                  澁谷 節子さん  
聖句担当： 伊藤 仁信君  
卓話担当： 清水 淳君

## ~~~~~ メ ネット 報 ~~~~~

### “自分は何の花？”

9月の例会の時に、ゲストスピーカー松田昭臣氏より、お話をしていただき、出席者全員に“自分は何の花にたとえられるか”話すことを求められました。

私は花は大好きですが、自分は何の花かなんて考えたこともなかったので本当に困りました。他のメンやメネットの方も同じだったと思いますが、見たこともない花をあげることはできません。結局、自分は何の花が好きなのか、どの花にインパクトを受けたのかという発表になっていったと思います。それぞれがその花との出会いや思い出を話されました。メネットのほとんどの方は、やさしくかわいい、可憐な花をあげられました。そういう生き方をしたいと話されました。

それに反し、私は緑の濃い、夏にも強い観葉植物が好きであると話しました。(私は冬の寒さにすごく弱いのです)家に帰り、やはり花の名前を挙げればよかったと後悔しておりました。

毎週、玄関に活けている花の中で、とても活けやすく、好きな花は、カラーという白い花です。黄色や紫の花もありますがやはり白が1番かと思いません。

2本あれば、それだけでもインパクトがあり、何本かまとめて硝子の花瓶に入れてあるのも素敵です。自分はそんなにスキッとした生き方をしていませんが、モダンなきりっとした生き方ができたらと思っています。



“あなたは何の花？”という問いかけは、花を通して少しの時間でしたがみんなの思い出と、自分を見つめなおす機会を与えてくれたのではないのでしょうか。

(山本 典子 記)

### 【11月メネット会例会「芋煮会」のお知らせ】

メネット会恒例の芋煮会を下記の予定で行います。お揃いでご参加ください。

日 時 11月4日(月・祝) 10:30~14:00

(雨天決行)

場 所 内川スポーツ広場

会 費 500円

YMCA 少年会員はご招待(無料)

金沢クラブ会員は無料

